



Château Moncets

シャトー・モンセ

シャトー・モンセはAOP ラランド・ド・ポムロールでトップクラスのシャトーです。畑はペトリュスやシュヴァル・ブランに隣接します。1770年に創設、1872年に所有者であったジェネラル・ドゥ・モンセが今のシャトーの名前となっています。2012年に仏企業に所有権が渡り、2015年に醸造設備を新設、ワインの品質を向上させました。HVE 認証レベル3（環境価値重視認証の最高レベル）認定。

シャトー・ラ・バステイデット 2019

AOP モンターニュ・サンテミリオン 赤・フルボディ 品種：メルロー



モンターニュ・サンテミリオン 1ha の区画にある樹齢約90年のメルローから造られます。チェリー、スマレのアロマが広がり、フレッシュで濃密、丸く柔らかみのあるボディが香りを際立たせます。その香りと味わいは、右岸のメルローの特徴がよく出ています。

砂粘土土壌。2017年からビオ栽培へ転換

醸造：手摘み、手作業で選果、発酵前低温マセラシオン、温度管理されたタンクで熟成、年間生産量8000本

